

2015年9月5.6.7日(土日月)



第19回戦争遺跡保存全国シンポジウム千葉県館山大会

～ 戦跡と文化財を活かしたまちづくり 「館山まるごと博物館」～

○全体会場：千葉県南総文化ホール ○分科会場：館山市コミュニティセンター

主催：戦争遺跡保存全国ネットワーク

第19回戦争遺跡保存全国シンポジウム千葉県館山大会実行委員会

共催：NPO法人安房文化遺産フォーラム

後援：館山市、館山市教育委員会、館山市観光協会、千葉県歴史教育者協議会



環日本海諸国図(富山県作成:平 24 情使第 238 号)

- 【参加費】
- ・1日券 1,000 円 / 2日券 2,000 円 大学(院)生:半額 高校生以下無料
*事前登録の学生ボランティアは参加費免除・弁当支給
 - ・全国交流会 2,000 円 / 弁当代(5.6日) 800 円【要予約】
 - ・フィールドワーク：Aコース 2,500 円 / Bコース 1,000 円【要予約】

プレイベント 9月5日(土)

*見学会 館山海軍航空隊赤山地下壕跡

○入壕料 200 円は各自払い =館山市指定史跡=

9:30～11:45 無料ガイドサービス

【交通】館山駅からタクシー5分 または
JRバス or 日東バス 10分「宮城」下車

*映画会 『赤い鯨と白い蛇』

10:00～11:45 南総文化ホール小ホール

※満席の場合は大会議室での同時上映となります。

館山の戦跡を舞台に制作された映画です。タイトルの「赤い鯨」は夕日を浴びた館山湾で訓練する特殊潜航艇を意味し、「白い蛇」は家の守り神と平和を象徴しています。

せんぼんよしこ監督は、千葉県立安房高女・安房南高校の卒業生です。少女時代を館山で過ごした体験を重ねた役柄を香川京子が演じ、樹木希林や浅田美代子らとともに、戦後 60 年の館山を訪れる物語です。豊かな自然やエネルギーな「やわたんまち(八幡宮祭礼)」が、生命輝く美しいストーリーを織り上げています。(2005 年制作)



大会趣旨

2004年の第8回戦争遺跡保存全国シンポジウム館山大会から10年を経て、市民が主役の文化財保存運動は、館山海軍航空隊赤山地下壕跡を館山市指定史跡に、里見氏稲村城跡・岡本城跡を国史跡に、青木繁『海の幸』誕生の小谷家住宅を館山市指定文化財にと、成果を挙げてきました。現在は、戦跡をはじめ多様な文化遺産（ヘリテージ）を「館山まるごと博物館」として、まちづくりに活かす取り組みを民官協働で進めています。

地域全体を「まるごと博物館」と見立てて、魅力的な自然遺産や文化遺産を再発見するとともに、市民の学習・研究・展示や保全活動を通じて、地域を活性化しようというまちづくりの手法は、1971年フランスにおいて「エコミュージアム」として提唱された概念です。自然環境や歴史的環境を学び、地域特性をよく認識・理解したうえで、市民が自らすすんで活動に参画することにより、地域社会が豊かになっていくだろうと考えられています。

日本列島の頂点で太平洋に開かれ、古くから要衝の地である千葉県館山市は、幕末から台場が置かれ、明治期以降は東京湾要塞などの重要な軍事施設がつくられてきました。戦争末期には本土決戦に備えて7万の兵が配備され、ミズーリ号の降伏文書調印式の翌9月3日にはアメリカ占領軍3,500名が上陸し、本土で唯一「4日間」の直接軍政が敷かれています。その一方、海路を通じて多民族が交流・共生し、あるいは戦乱や震災を乗り越えて助け合ってきた地域像を学ぶこともできます。平和を願う人びとは1948年に館山ユネスコ協力を設立し、現在にユネスコ精神を継承してきました。

21世紀を迎え、ユネスコは、対立や争いを創造的な対話によって解決していこうとする価値観を「平和の文化」と定義しました。これを受けて国連は2000年を「平和の文化国際年」と宣言し、ユネスコ「平和の文化」局長のD.アダムス氏は「ピースツーリズムを平和産業に」と提唱しました。多様な課題を抱える現代社会において、単に戦争がない状態を平和と捉えるだけでなく、貧困や差別、環境破壊のない持続可能な社会を旨とするうえで、重要な考え方といえます。「戦後70年」にあたる本年、戦後日本のスタートの地となった館山市から「平和の文化」を心に刻み、市民が主役のまちづくりがさらに各地で展開していく契機になることを願っています。

全体会 9月5日（土）13:00～16:15 千葉県南総文化ホール小ホール

※満席の場合は大会議室でモニター中継の視聴となりますのでご了承ください。

* 開会セレモニー

語り『富田先生の青い目の人形』

実行委員長 松苗禮子

* 記念講演

「平和の文化」と戦後70年の祈り

ハ ジョンウン

河正雄氏

韓国光州市立美術館名誉館長

韓国朝鮮大学校美術学名誉博士・韓国宝冠文化勲章受賞

在日同胞の美術作品を日韓の美術館に1万点を寄贈、世界的にも珍しい個人メセナの実践者です。育った故郷の田沢湖畔（秋田県仙北市）に朝鮮人労働者の慰霊碑建立や、日韓の架け橋となった浅川巧・伯教兄弟の精神を学ぶ清里銀河塾（山梨県北杜市）の開催など、多様な「平和の文化」活動に尽力しています。著書『韓国と日本、二つの祖国を生きる』『祈りの美術』等。

* 歓迎挨拶 金丸謙一 館山市長

* 基調報告 戦跡保存全国ネットワーク

* パネルディスカッション

「戦跡と文化財を活かしたまちづくり」

- ・ 千葉県館山市 愛沢伸雄 (NPO法人安房文化遺産フォーラム代表)
- 池田英真 (館山市商工観光課主任学芸員)
- ・ 沖縄県南風原町 吉浜忍 (沖縄国際大学教授・南風原町文化財審議委員)
- ・ 高知県香南市 松村信博 (香南市文化財センター主監調査員)
- ・ コーディネーター 池田恵美子 (NPO法人安房文化遺産フォーラム事務局長)

* 全国ネット会員総会 16:30～17:30

全国交流会 18:00～20:00

千葉県南総文化ホール大会議室

【要予約・2,000円】

見る・歩く・学ぶ・楽しむ

安房国再発見!

館山まるごと博物館

* 第1分科会
保存運動の現状と課題

* 第2分科会
調査の方法と整備技術

* 第3分科会
平和博物館と
次世代への継承

* 特別分科会 「米占領軍の館山上陸と直接軍政/証言者のつどい」

- ・映像視聴：アメリカ占領軍の館山上陸シーン動画
- ・映像視聴：NHK-B S 歴史館『それはミズーリ号から始まった～日本の運命を分けた2日間』
解説：佐野達也氏(番組制作者)
- ・証言：直接軍政と館山市民の交流
高橋博夫氏(元館山市教育長)
- ・報告：赤山地下壕建設のため退去させられた青山学院水泳部合宿所 佐藤隆一氏(青山学院高等部教諭)
- ・証言：安房中学の勤労働員・本土決戦下の漁村(館山市布良)
川崎地区の空襲(館山市那古) ・野島崎への艦砲射撃(南房総市白浜町) …など



※ 第1～第3分科会のレポート発表の申込みは、戦跡保存全国ネットワークへ事前にお問い合わせください。

- * 閉会集会
- ・各分科会の報告、大会アピール
 - ・次回大会の紹介

フィールドワーク(バスツアー) 9月7日(月)

Aコース 9:00~15:00 (ガイドブック・昼食付/定員40名)

- ・館山海軍航空隊跡 ・アメリカ占領軍上陸地
- ・特攻艇「震洋」波左間基地跡 ・館山海軍砲術学校(烹水所跡)
- ・平砂浦演習場跡(車窓) ・本土決戦の布良陣地(車窓)
- ・青木繁『海の幸』誕生の家・小谷家住宅 =館山市指定文化財=
- ・青木繁記念碑 ・布良崎神社
- ・ハンゲル「四面石塔」=千葉県指定史跡= **【要予約・2,500円】**

Bコース 9:00~12:30 (ガイドブック付/定員20名)

- ・大房岬要塞群 =南房総市指定史跡=
(砲塔砲台跡・弾薬庫跡・探照灯跡・回天10型基地跡)
- ・特攻機「桜花」下滝田基地跡 **【要予約・1,000円】**

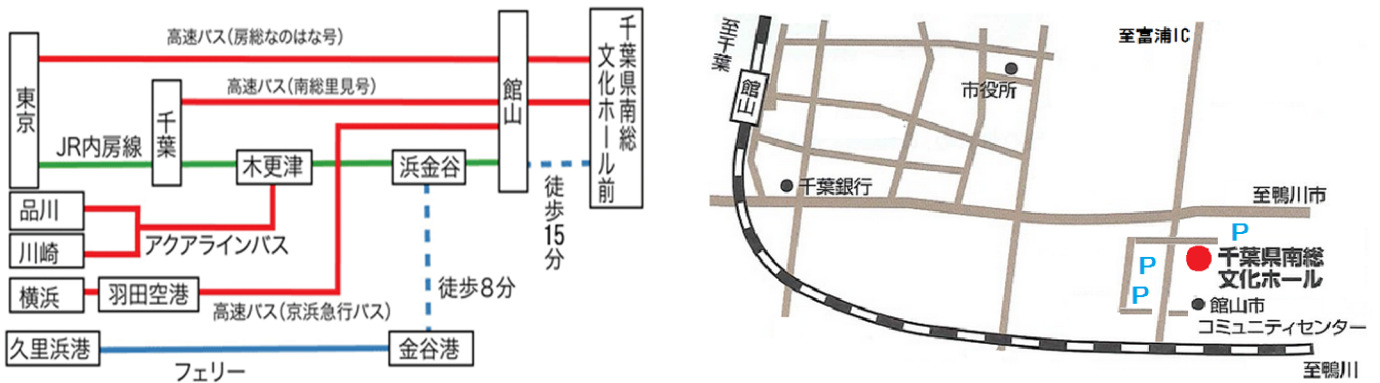


特別企画 (入場無料)

- ◎ 「戦後70年」展 8月26日(水)～9月8日(火) 南総文化ホールギャラリー
- ◎ 戦争遺跡保存全国ネットワーク・館山まるごと博物館 資料展
9月5日(土)～6日(日) 館山市コミュニティセンター展示室

交通

- **東京駅** or **新宿駅**より、高速バス「房総なのはな号」 ほぼ30分毎に発車（館山駅まで所要約110分）
※直行便＝東京駅 9:20 発⇒南総文化ホール前 11:15 着／赤山地下壕へは東京駅 7:50 発⇒宮城 10:00 着
- **千葉駅**より、高速バス「南総里見号」 ほぼ30分毎に発車（館山駅まで所要約95分）
※直行便＝千葉駅 9:20 発～南総文化ホール前 10:59 着
- **横浜駅**より、高速バス「館山線」（所要約110分） 横浜駅 9:00/10:00/発⇒館山駅 10:50/11:50 着
※午後便は横浜駅 12:00/14:15/16:15/17:20/18:25/20:25 発⇒館山駅 14:10/16:25/18:05/19:30/20:35/22:15 着
- **羽田空港**より、「空港リムジンバス」で木更津駅 or 君津駅（乗換）⇒JR内房線館山駅下車
羽田空港 9:50/10:50 発⇒木更津駅 10:35/11:30 着（乗換）JR木更津駅 10:54/11:54 発⇒館山駅 12:06/12:54 着
※午後のみ直行便あり＝羽田空港 12:30/14:45/17:50/18:55 発⇒館山駅 14:10/16:25/19:30/20:35 着
- ◎ **【館山駅から】** 徒歩15分 or タクシー5分 or 路線バス「南総文化ホール前」まで5分（徒歩3分）



お宿の紹介（送迎サービス付き）

| 宿舎 (50音順) | 電話 | 住所 (館山市) | ホームページ |
|----------------------|--------------|---|---|
| * 安房自然村 | 0470-28-1111 | 布良 660 | http://awa-shizenmura.jp/ |
| * INN & CAFÉ ONEDROP | 0470-29-5108 | 波左間 37-2 | http://www.one-drop.co.jp/ |
| * 海の湯宿 花しぶき | 0470-29-0236 | 塩見 233-4 | http://hanashibuki.com/ |
| * おさしみの宿 たろべ | 0470-29-1188 | 塩見 225 | http://www.tarobe.net/ |
| * お宿 やまもと | 0470-22-2671 | 沼 974 | http://oyado-yamamoto.com/ |
| * 休暇村館山 | 0470-29-0211 | 見物 725 | http://www.qkamura.or.jp/tateyama/ |
| * 館山シーサイドホテル | 0470-22-0151 | 八幡 822 | http://www.tateyamaseaside.com/ |
| * 富崎館 | 0470-28-1125 | 布良 303 | http://tomisakikan88.jimdo.com/ |
| * ホテルオーパヴィラージュ | 0470-28-1000 | 犬石 1687 | http://www.opavillage.com/ |
| * ホテルアクション館山 | 0470-29-2100 | 小沼 352 | http://www.accion.co.jp/ |
| * 民宿 つのだ | 0470-27-2755 | 正木 1202-2 | http://www.awa.or.jp/home/tsunoda/ |
| * 旅館 にい釜 | 0470-22-0148 | 館山 1510 | - |
| 館山市観光協会 | 0470-22-2000 | http://www.tateyamacity.com/ | |

※ 各自予約時に送迎依頼を伝えて下さい。送迎不要の場合は館山市観光協会にて紹介します。

問合せ・申込み先

◇ 戦争遺跡保存全国ネットワーク事務局
〒380-0928 長野県若里 3-5-5 きぼうの家
松代大本営の保存をすすめる会 気付
TEL&FAX : 0 2 6 - 2 2 8 - 8 4 1 5
Eメール : kibounoie@nitfy.com

【現地事務局】

◇ NPO法人安房文化遺産フォーラム
〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館
TEL&FAX : 0 4 7 0 - 2 2 - 8 2 7 1
Eメール : awabunka@awa.or.jp

※ 開催要項・申込書はホームページ(新着情報)よりダウンロードできます。 <http://bunka-isan.awa.jp/>
郵便振替口座:00270-3-102723 名義:第19回戦跡シンポジウム館山大会